



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 アジアパイルホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5288 URL <https://www.asiapile-hd.com>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長最高執行役員 (氏名) 黒瀬 修介  
問合せ先責任者 (役職名) 企画部長 (氏名) 鈴木 秀明 TEL 03-5843-4173  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	21,484	△14.1	794	△59.1	809	△54.8	386	△69.9
2024年3月期第1四半期	25,018	△9.9	1,940	28.6	1,793	19.1	1,283	11.9

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 721百万円 (△57.0%) 2024年3月期第1四半期 1,677百万円 (15.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	10.14	—
2024年3月期第1四半期	33.70	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	92,530	48,769	48.5
2024年3月期	95,230	49,122	47.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 44,848百万円 2024年3月期 44,964百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	22.50	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	104,000	0.8	7,100	1.2	6,300	0.8	3,900	2.0	102.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	38,089,792株	2024年3月期	38,089,792株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	942株	2024年3月期	942株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	38,088,850株	2024年3月期1Q	38,088,965株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績に関する説明 .....	2
(2) 当四半期の財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当四半期の経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下、景気は緩やかな回復がみられる一方、円安の定着、物価高騰、ウクライナや中東の地政学的リスクなど、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

当社グループが事業展開しているアセアン地区においては、ベトナムでは経済全体は回復傾向にあるものの、不動産・建設市場は低調に推移しました。また、ミャンマーでは、クーデター以降、政情不安の影響が続き、経済全体の停滞が続いています。

当期間における各セグメントの概況は次の通りです。

#### ① 国内事業

国内事業では、引き続き先行きの建設需要は底堅いものの、建設資材高騰や労働需給の逼迫、さらに今年度より適用されている時間外労働の上限規制を背景として、ゼネコンサイドにおいて、着工時期の設定等に慎重になる傾向が続いたことから、国内コンクリートパイル業界の全体出荷量は前年同期比で4%の減少となりました。

一方、当社グループは、事業基盤の強化を図るべく大径・大規模工事へのシフトによる効率化を推進し、工事の大型化による短期的な業績変動幅が大きくなる傾向にあります。底堅い建設需要を背景に、当社の受注高は徐々に回復しており、下期以降着工予定の大型工事案件も期待できる状況ですが、工事の大型化に加え、前述の業界全体の着工調整の影響や前年同期に特に大型工事が集中したことから、当第1四半期の売上高は、大幅に減少しました。

結果、国内事業の売上高は186億90百万円（前年同四半期比17.9%減）、営業利益は8億41百万円（同57.0%減）と減収減益となりました。

#### ② 海外事業

海外事業では、ベトナムの事業子会社Phan Vu Investment Corporationは、ベトナム政府の景気刺激策により、金融面の収支は改善しつつあり、経済全体の回復の兆しはありますが、不動産・建設市場の本格的な回復には至らず、業績は依然として低調に推移しました。また、ミャンマーの事業子会社VJP Co., Ltd. は事業活動がほぼ停止した状況が続きました。

結果、海外事業の売上高は28億8百万円（前年同四半期比23.6%増）、営業損失は73百万円（前年同四半期は営業損失10百万円）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は214億84百万円（前年同四半期比14.1%減）となりました。利益面では、営業利益は7億94百万円（同59.1%減）、経常利益は8億9百万円（同54.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、海外子会社の株式売却損を計上したことなどにより3億86百万円（同69.9%減）となりました。

### （2）当四半期の財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ27億円減少し、925億30百万円となりました。主な要因は、棚卸資産が15億99百万円増加しましたが、現金及び預金が28億72百万円、受取手形、売掛金及び契約資産などの売上債権が合計20億96百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ23億47百万円減少し、437億60百万円となりました。主な要因は、ファクタリング未払金が5億13百万円、未払法人税等が5億79百万円、借入金合計が3億38百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

純資産については、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による増加3億86百万円、剰余金の配当による減少9億52百万円、為替換算調整勘定の増加1億87百万円、非支配株主持分の減少2億36百万円などの結果、前連結会計年度末に比べ3億52百万円減少し487億69百万円となりました。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月10日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,832	13,960
受取手形、売掛金及び契約資産	31,857	30,620
電子記録債権	4,801	3,942
未成工事支出金	1,964	1,888
商品及び製品	6,230	7,798
原材料及び貯蔵品	1,974	2,081
その他	1,011	1,565
貸倒引当金	△1,774	△1,823
流動資産合計	62,898	60,033
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,934	8,977
その他（純額）	16,575	16,329
有形固定資産合計	25,510	25,306
無形固定資産		
のれん	74	74
その他	300	322
無形固定資産合計	375	396
投資その他の資産		
その他	6,484	6,833
貸倒引当金	△39	△39
投資その他の資産合計	6,445	6,793
固定資産合計	32,331	32,496
資産合計	95,230	92,530

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,640	10,441
電子記録債務	3,501	3,317
ファクタリング未払金	9,996	9,482
短期借入金	8,569	7,962
1年内返済予定の長期借入金	1,748	2,478
未払法人税等	931	351
契約負債	993	1,227
賞与引当金	704	280
完成工事補償引当金	32	34
工事損失引当金	88	51
その他	2,768	2,400
流動負債合計	39,973	38,028
固定負債		
長期借入金	3,264	2,802
役員退職慰労引当金	245	255
退職給付に係る負債	891	915
その他	1,732	1,757
固定負債合計	6,134	5,731
負債合計	46,108	43,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,621	6,621
資本剰余金	8,706	8,800
利益剰余金	27,065	26,655
自己株式	△0	△0
株主資本合計	42,393	42,077
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,729	1,746
為替換算調整勘定	814	1,002
退職給付に係る調整累計額	27	22
その他の包括利益累計額合計	2,571	2,771
非支配株主持分	4,157	3,921
純資産合計	49,122	48,769
負債純資産合計	95,230	92,530

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	25,018	21,484
売上原価	20,779	18,211
売上総利益	4,238	3,273
販売費及び一般管理費	2,297	2,479
営業利益	1,940	794
営業外収益		
受取利息	14	4
受取配当金	46	55
持分法による投資利益	50	41
その他	63	54
営業外収益合計	175	156
営業外費用		
支払利息	227	126
その他	96	14
営業外費用合計	323	140
経常利益	1,793	809
特別利益		
固定資産売却益	—	7
特別利益合計	—	7
特別損失		
固定資産除却損	2	11
投資有価証券評価損	—	2
関係会社株式売却損	—	121
特別損失合計	2	135
税金等調整前四半期純利益	1,790	681
法人税等	586	349
四半期純利益	1,203	332
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△79	△53
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,283	386

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	1,203	332
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	265	16
為替換算調整勘定	208	333
退職給付に係る調整額	0	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	—	42
その他の包括利益合計	474	388
四半期包括利益	1,677	721
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,651	573
非支配株主に係る四半期包括利益	26	147



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	823百万円	834百万円
のれんの償却額	9	4

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,745	2,272	25,018	—	25,018
セグメント間の 内部売上高又は振替高	15	—	15	△15	—
計	22,761	2,272	25,033	△15	25,018
セグメント利益又は損失 (△)	1,956	△10	1,945	△4	1,940

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去、のれんの償却額などが含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,676	2,808	21,484	—	21,484
セグメント間の 内部売上高又は振替高	14	—	14	△14	—
計	18,690	2,808	21,498	△14	21,484
セグメント利益又は損失 (△)	841	△73	768	25	794

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去、のれんの償却額などが含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。